

刊夕日三拾月二



定価 一紙五銭 一月五拾五銭 郵費五銭  
 発行所 常磐宮日新聞社  
 印刷所 常磐宮日新聞社



目醒め行く  
 女子の使命

R M 女

皆さん。ベスタロツチは申しました。教育の因は家庭にあり家庭の中心は母にあり」と。また「母賢なれば一家整ひ、一家整へば一郷治り、延いては全國の民風自ら純良の域に達すべし」と、私達が一家を訪問した

場合、その玄關に廢物が整頓してあるか否かを見まして、その家庭内の秩序如何が想像され、延いてはその主婦の内面的生活の程度が窺はれると私は考へる者で御座います。私達若き女性が長じて良妻となり良母となり家事に精勵し子弟を薫

漁獲高に於ても漁業者數に於ても日本が列國からずば抜けて世界第一位。さすが四面海の國だ。

陶して、聖代の恩澤に報ゆべきか、日本古來の美德を失はざる眞の女性なりと思ふので御座います。

移り行く新らしき時代に處する婦人をつくらんが爲めには、最高學府に迄學ぶべく女子の教育が解放され又政治上經濟上に於きまし

ても次第に女子の進出すべき道が開かれ、私達の時代に發展すべき喜ばしい時代が到來しつつあるのであります。故に私達は若き心の勇みを以つて今日より明日へ自由の人として自ら自己の進展向上を計りませう。

【朝】味噌汁ーねぎ 小付 蛤佃煮  
 【明】日の献立  
 【晩】もつ鍋ーもつ ねぎ やき豆腐 おろし合 へ 白須干 花かつ

然し私はそれと同時に國家現下の情勢を靜觀して自由に伴ふ大なる責任と自覺とを全國の女性に要望しなければなりません。皆さん。一國の物質文化や政治經濟軍備が如何に國家を外面的に強大にしても、其國の國民精神が麗はしい道徳基調の上に立つて居なかつたらば、國家が却つて其發達の爲めに倒れる時機があると云ふ事は自然の道理であります。それと共に國社

會現下の情勢に對し批判的研究をせずして、たゞ流るゝまゝに行くまゝに各々女性が無自覺なる時、其處にまた一抹の不安を感じざるを得ないので御座います。一口に現今の國情を申上

ける事は出来ませんが、我が國現下の情勢は思想上特に經濟上國歩艱難の時期に遭遇して居るので御座います。今私が申上る迄もなく盛んに唱道されてゐます生活改善の聲、臺所經濟の合理化等の叫びは一體何を物語つて居りませうか。私達は眞面目に此の問題を考へて見なければならぬと思ひます。

飯田夕草  
 寒の雨

松の花觀音堂をおろがみぬ  
 カーテンの明るみ來たり寒の雨  
 寒の雨トタン濡らしてふりにけり  
 眠られぬあかつき闇や寒の雨  
 市過ぎの大路に降りぬ春の雪  
 春の雪初戀人のやつれ顔  
 娼婦には格子も寒き春の雪  
 御歳暮をもちて女中は子を  
 負ひぬ  
 御拂をおろがむ時も冷えにけり

吉田眼科病院  
 平南町電話二四三  
 川井内科診療所  
 川井安子

耳鼻咽喉科専門  
 大和田醫院  
 平南町一六(電話一七〇番)

電話三五九番  
 貨切の御用命は！  
 是非セリザワ  
 タクシーへ！  
 御願ひ致します

吉田眼科病院  
 平南町電話二四三  
 川井内科診療所  
 川井安子

ラスト平曾韻  
 電話624

吸入用酸素純度99%  
 度量衡器  
 秤ノ取緒。垂糸。修繕致シマス  
 開内藥局  
 電話四〇番

舊初賣御禮  
 初賣御禮トシテ  
 「マツダ真空管」  
 特ニ割引販賣イタシマス  
 此際御買ひ求め下さい  
 日東商會  
 平町二丁目 電話四二八番

玉屋洋品店  
 平南町電話六五六番

# 故老の言に従つて

## 凶作を免れた 體驗談

### 上遠野村の實行組合長は

## 獨り平年作

(昨報) 昨十二日縣主催で平團體事務所樓上に開かれた郡下冷害地經濟更生座談會の席上特に選まれて更生體驗談を語つた上遠野村字中寺、農業實行組合長田子辰雄さんの談に依ると昨九年の新月頃から村内の老人達は『前年が豊作だつたが良後は必ず悪く本年は凶作が来る』と語つたのを聞きその言に従つて早速凶作の對策を構じ所有田地

一町歩に一切早播早植を行ひ、灌溉用水も平年より一週間永く用ひる等最悪の場合を豫期して凡ゆる方法の實施に努めたが果して收穫期になると同村は本郡中でも最も甚しい冷害を蒙り村内

行、平の二百七十八俵は建値十一圓三十八錢、大野村の百二十俵は十一圓三十六錢、飯野村の百二十八俵は十一圓四十二錢、渡邊村の百四十六俵は十一圓十五錢、玉川村の百十二俵は十一圓

三十九錢、平窪村の四十九俵は十一圓三十四錢、神谷村の七十俵は十一圓三十五錢等合計九百三俵は平町丹野周一郎、小名濱萬屋店に夫々落札したが前回に比して二十錢の高値であつた

## 小川江筋 起工認可

既報小川江筋普通水利組合は本年度より工費五千圓七百圓で同江筋の水利改良事業を起工すべく起債方を豫より内務大藏兩省に申請中の處昨十二日付を以つて認可された

## 人夫に出働して

### 修學旅行の費用を作る

錦村絞南中堅農學校は近く自轉車隊を組織し男生徒三十餘名が日光見物を計畫したが其の旅費を得る爲め目下同村に建設中の昭和入絹工場に人夫として去る十日より五日間出働する由

向反當りの收購四萬二千六百廿貫に達した館組合鈴木義一氏外優良組合員を表彰した

## 濟生會資金

### 豫定額を突破

#### 平署頗る好成績

既報平署に割當られた濟生會資金寄附額一萬二千八百五十五圓は横山署長以下幹部署員が極力募集に努めた結果本十二日迄の寄附額は一萬六千三百圓に達し豫定額より三千四百四十五圓を突破する好成績を挙げたので同署の寄附募集は本日限り打切る事となつた

中堅講習開始 既報石城郡農會主催中堅農

## 地方米

### 二十錢高

平農業倉庫の産米共同販賣は昨十二日午後三時よ

## 産繭品評

### けふ片倉で 褒賞授與式

既報十一日より開催された片倉製糸主催の産繭向上品評會の出品点数は春繭千五百七十三点、初秋繭八百八十一點、晚秋繭八百七十三點、總計三千三百卅七點の多數に達し審査の結果本日午後二時より褒賞授與式を舉行、双葉郡木戸村松本文吉氏外一千五十二名に對し夫々賞品及賞状を授與し

第十五區の役員 平町第十五區(胡摩澤)は此程總會を開き左記役員を決定した

## 學藝會總會

既報來る二十三日午前八時半から催される平第一小學校の學藝會種目は讀方、朗讀、唱歌、遊戯、實驗、書方、描

## 江名水道 起工式舉行

### 既報工費十二萬圓の計劃で認可された江名町上水道工事は此程一切の準備が終り来る廿日午前十一時より同町中の作淨水場敷地に官民多數を招き上水道起工式を擧げる事に決定した

## 平町人事

- △胡摩澤一〇四 太澤章氏 長男和男
- △回 出 生
- △研町一三 佐々木キンさん(六四)
- △大館三六 蛭田兼治さん(七一)

## 藤沼醫院

平町・紺屋町 電話五〇七番

# かまぼこ製造

# おろし

# 不凍實

電話一四一番

木炭代用

月星豆炭 一八キ口壹袋

金八十錢

阿部石炭商店

株式賣買債權取立 會社 三共商事

大町 電話三六〇番

# 是非!

御融通には御用命下さい 萬事便利な御相談に應じます

# 三井質店

平四・電六〇六番

# 十歳の由光さんが

## 今はの際にお願い

### 貯金した小遣金を全部

#### お友達に分けて下さい

##### 校長先生の感激

平窪村大字中平窪字高橋卅二大須賢庄之助氏長男由光(一〇)さんは同村小學校の尋常二年生で成績も優れ性格も温順なので末頼もしい少年であると附近の譽め者になつて居たが去月下旬麻疹に罹つたのが因で種々な病氣が併發し醫者よ薬よと一家を擧げての手篤い看護も効ひなく昨十二日午後二時頃僅か十歳を一期に來る春も待たず永遠の眠りについた此の悲しい別離の一瞬間に危篤を聞いて井上校長が枕邊に走せつけた時である由光さんは苦しい息の下からかすかに眠を開き井上先生の手を握つて僕は大人になつて立派な人間になる積りでしたがもう駄目です、佛様が澤山山迎へに來ましたからもう左様ならします、ただ僕は毎日お小遣を無駄にしないで貯金した金がお母さんに預けてあります

から、夫れを先生から學校のお友達に分けて上げ下さい

と云ふその言葉も途絶え勝ちなので井上先生も「承知しました、安心なさい」と云ふより外に言葉なく思はず熱涙に頬をぬらしたが由光さんは先生の承諾の様を見て安心したか間もなく

息を引き取つた、氣丈な父親之助氏も今はの際、我子ながらに感心な最後の願ひを聞いて堪えかね母親諸共聲を擧げて號泣し、駆け付けた市原醫師、渡邊看護婦其他並居る人々何れも涙に暮れぬ者はなかつたといふ、

# 逝く幼き者の聲を悲し

粉雪降り頻る中に  
セメント工場燃ゆ  
二棟百二十餘坪を全焼  
損害約一萬圓

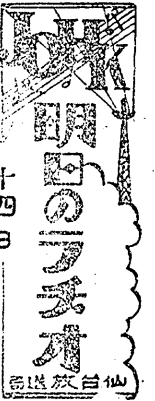
昨十二日午後六時半頃四倉驛前警署セメント工業所内木工場より發火粉雪降り頻る中に火は忽ち燃え擴がり同木工場を全焼隣接せる電気修理工場にも延焼し大工場二棟百廿餘坪を全焼して午後七時半鎮火したが損害約一萬圓、原因は目下四倉署で調査中

たが寄附者の名はX生とのみで判明せぬので目下調査中

寄附者はX 本十三日平署人事相談所へ半紙へ鉛筆で貧困者への救済資金に當て、下さいと三圓の爲替を添へて届けた者があつ

夫の出稼中  
妻が他の男と同棲

神谷村宇野九二大平榮太郎方日雇東京市城東區龜戸町一丁目生島野長松(三)は三年前東京で好間村宇大畑湯本淺太郎長女キタ子(三)と夫婦となり三兒を擧げたが生活難の爲め昨年より前記神谷村に獨り出稼中妻キタ子は無断で郷里好間村に歸り萩原炭礦の坑夫山本源八と同棲して居る事が解つたので子供が可愛相だから今一度妻に歸宅する様にと



今晩も明日も北西の風晴曇半す

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「歴史に現はれた梅」
- 高柳光壽
- 後六、二五 基礎英語講座
- 岡倉由三郎
- 後七、三〇 朝鮮警備隊慰問の夕
- 栗田ケイ子、清水玉恵
- (高二)西瀉シユ、廣澤好

橋上の人夫を……  
跳ね飛と墜落さす

釜戸川架橋中の出來事

平署に説諭方を願ひ出た

夫の出稼中  
妻が他の男と同棲

神谷村宇野九二大平榮太郎方日雇東京市城東區龜戸町一丁目生島野長松(三)は三年前東京で好間村宇大畑湯本淺太郎長女キタ子(三)と夫婦となり三兒を擧げたが生活難の爲め昨年より前記神谷村に獨り出稼中妻キタ子は無断で郷里好間村に歸り萩原炭礦の坑夫山本源八と同棲して居る事が解つたので子供が可愛相だから今一度妻に歸宅する様にと

内郷學童の非常時考査

一齊に修身と國史鑑み特に修身と國史に主力を置き非常時の訓話を行ふ一方法として來る廿三日全校生徒一齊に考査を行ふ由

草野校寒稽古  
草野小學校劍道部は明十四日から五日間毎日放課後寒稽古を行ふ由

無罪者が不服申立

既報——玉川村大字島字島一一四農鈴木一夫(三)は私文書偽造行使並に窃盜事件が無罪になつた所から刑務所に拘留された慰藉料を請求した事件は既記の如く理由立たずとして棄却されたが今十三日武田、眞木兩辨護士を代理人とし不服を申立て更に福島地方裁判所に抗告した

總會日時

第三方面青年  
けふ決定

石城郡第三方面青年團團長會は今十三日午前十時から平第一校應接室に開き總會日取を既報の如く來る三月三日午前九時から平町聚樂館に於て開催と決定した尙當日は知名の士に講演を依頼する外例年通り各分團員の意見發表及び對抗劍道試合がある

裁判所たより

△平新川町自動車運轉手國

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫

電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

後六、〇〇 子供の時間  
唱歌劇「龍宮の浦島」J.O.A.K.唱歌隊

後六、二五 英語講座(二の五)細井逸紀

後七、三〇 講演「社會は大學卒業生に何を要求しつゝあるや」河田嗣郎

後八、〇〇 獨唱と室内樂 奧田良三

後八、三〇 義太夫「阿波鳴門」竹本南都太夫

後九、一〇 連續ラヂオ小説「盲笛」(一)坂東鏡助

分正治(三)は昨年十一月十八日平小川間に於て定員に倍する乗客を乗せ今十三日平區裁判所に於て略式に依り小林判事から科料十五圓に處された

平職案紹介所報告

回人を求める方

- △店員 十九才尋卒 月六
- △カマド製造工 二十前後 日給五十錢以上
- △女中 十七才 月四五圓
- △雜夫 三十迄 月十二圓
- 回職を求める方
- △雜役 二十二才高卒
- △大工 三十五才尋四修
- △牛乳配達 二十七才高卒
- △漁夫 二十五才尋卒

裁判所たより

△平新川町自動車運轉手國

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫

電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

裁判所たより

△平新川町自動車運轉手國

裁判所たより

△平新川町自動車運轉手國



# 明治太平記

(無断複製 上映及上巻)

(作) 寺島征史  
(畫) 野口運

## 第五十一回 助太刀商賣 (八)

「あんた、泥棒？」  
おとわは、寢臺の方へ後すさりしながら、いはるゝがまゝに低聲でいつた。  
「押込みではないぞ」  
「そんなら、女漁り？」  
「ばかっ—おぬしを、たすけに参つたのぢや」  
「えッ」  
「おぬしの助勢に來たのだ」

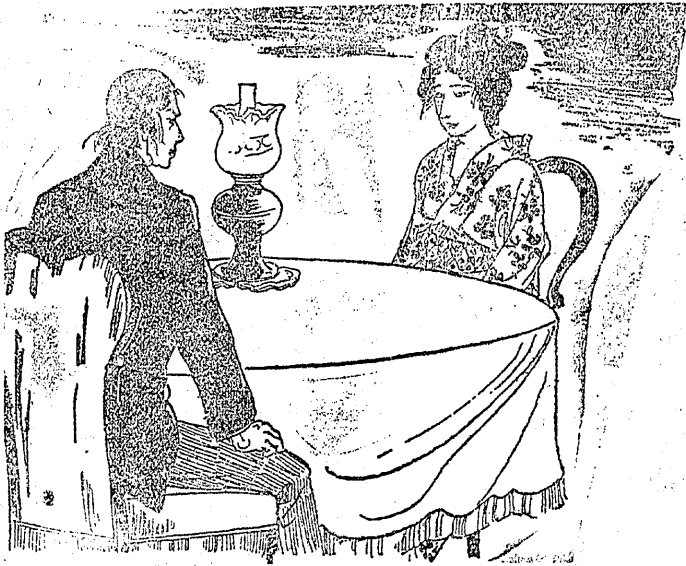
「わからないわ」  
「おとわ」  
「え」  
「おぬし、はやく、その懐劍を役立たせたいだらう、のう」  
「まア」

おとわは、おもはず胸に手をやつた。怪しい男を凝視し、警戒した。  
「あんたは、いつたい何んですの、よる夜中に、女ひとりのところへやつてきて、何をめちやくちやなことを云つてゐるのさ、あんたはどこから來たの」  
「おれは忍んで参つたのぢや」  
「忍んで？……ぢややつばり、世をはばかる稼業、何んですの」

「おれは、助太刀を稼業としてゐるものぢや」  
「えッ！ 助太刀？」  
おとわは、兩手を寢臺において、あらためて男の顔をじいつと凝視した。  
「おとわ」  
「……」

「しがかこはれてゐるといふことがわかつて？」  
「ハ、ハ、そのことか、やはり商賣は道によつて聰しだ」  
「妙ね」  
おとわは、はじめて笑顔をつくつて椅子に腰かける。と、あらためて大志賀の顔をみた。  
「あんた、助太刀を商賣にして、それでくらし立てゝるの？」  
「ハ、ハ、ハ、やはり女はそれを断念する。じつはまだ開業早々のことでくらしの見通しがかんよ」

「おれは、助太刀を稼業としてゐるものぢや」  
「えッ！ 助太刀？」  
おとわは、兩手を寢臺において、あらためて男の顔をじいつと凝視した。  
「おとわ」  
「……」



「おれの來意がわかつたら、さう驚かんでもよい。その椅子に差向ひになつて策を練らうか」  
「あんたは？」  
「おれの名か、それこそ、世をはばかる大志賀市之丞といふよ」  
「どうして、此處に、あた

「だつて、文明開化の世の中ですもの、そんな助太刀稼業なんか立つていきさうもないとおもうわ」  
「なるほど、開化の日本には、仇討が廢つたといふのか。がそれは制度のうへで、いや西歐心等の政府當路者が勝手にそういふ思想を播

いたので、下々のものは江戸時代の忠孝仁義を未だにすてぬよ。この春二月二十四日の夜外神田旅籠町で父の仇、山本旗郎をたふした元水戸藩住谷七之助同じく弟忠次郎の行状に對して世間では誰一人賞讃せぬはないではないか。仇討の廢らぬ證據ぢや。さういふおとわ、おまへとて、仇討志願の一人ではないか」  
「……」  
「おれの、仇討助太刀商賣は、そこをねらつてはじめたのぢやが、まだ開業早々何んとか商談に乗つてくれぬかな」

# お醤油は ヤマフル

醤油味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品

## 金山崎合名會社

福島縣平町(電話營業部一 造工場七)  
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

## 市原醫院

平・田町  
電話一四番

## 貸切の御用命は

ぜひ・三井自動車部へ!!!

電話六八五番

◎乗合は好間、合戸、澤渡方面行

## 外科 内臓 外科

◇病室完備◇

博醫學士 諸 橋 鐵 彌  
◎新川町一七 (電四六四)

## 磐城共濟病院

(福島縣平町) (電話六四一番)  
小兒科 院長 石山謙一郎 (電話四四一番)  
婦人科 部長 平賀一忠 (電話三七〇番)  
外科 部長 大町久藏 (電話二七二番)  
耳鼻咽喉科 部長 山謙郎  
皮膚泌尿器科 部長 山謙郎  
花柳病科 部長 山謙郎  
X光療科 部長 山謙郎  
衛生試驗局 部長 山謙郎  
藥劑局長 鈴木木寶雄  
藥局長 鈴木木寶雄  
事務局長 鈴木木寶雄  
◎每日午前八時ヨリ午後十時迄診療  
◎夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)  
◎病室完備 入院隨意

## 蓮花籠造花

新らしくは  
町川新平 橋  
屋 本 橋  
番三六一話電